

ハイクオリティ 鉄道写真集を作ろう！

ジャパנקリエイト株式会社

下山孝弘

ジャパンクリエイイト株式会社

創業：1996年

ブライダルのスナップ撮影/アルバム制作

2013年に、Canon DreamLabo5000導入

BtoC向けオンデマンド写真集制作サービス

art＋booksを開始

ジャパンクリエイイト株式会社

Canon DreamLabo5000

DreamLabo 5000



フォトブックとは？

「フォトブック」と聞いてどんなものをイメージされるでしょうか？

MyBookさん、Photobackさん、etc.

art＋booksは安価な製品に比べて少々お高め…

実際にどんなポイントが違うのか、どんなことができるのか、手に取っていただきながら知っていただける機会に。

自己紹介

フォトソリューション事業部
下山孝弘

入社以来ドライラボでのプリント業務に携わりながら、プリンターとしての知識を習得し、現在は、個人・法人・写真家様向けのフォトブック制作のご案内や紙面レイアウト、プリントマネジメント、写真展用の大判プリントの制作を行う。

自己紹介

趣味は写真撮影

父親の影響で鉄道写真に目覚め、
小中と全国の鉄道を追いかける日々。



～イントロダクション～

- インクジェット印刷と聞いて、皆さんどんなイメージを浮かべますでしょうか？

→家庭用のプリント機、個人でできる印刷、あまり綺麗でない。世間一般ではそんなイメージの方も多いと思います。

オフセット→プロ

インクジェット→アマチュア

インクジェット品質

- 今や有名写真家の方々の展示作品を制作しているのは、ほぼインクジェット出力機。
- デジタルRGBデータの再現性や色表現はCMYKの4色印刷をはるかに凌駕しています。

インクジェット品質

- そんな高品質なインクジェット印刷で
写真集が作れるサービス
⇒art+books
- DreamLabo5000（RGB印刷）を使用
- 1枚1枚思い通りに出したプリントを1冊の本にまとめる。
とっておきのオリジナル作品集。
- 1冊から作成可能。



昔のインクジェットブック

A4ポートフォリオ(40枚程度)

インク代…8000円

用紙代…5000円

ファイル…12,000円

合計25,000円

Art+booksとは

- 選べる用紙種類（グロス・ラスター・サテン）
- サイズは2種類 AB320 / AB260（+ A4タテ/ヨコ）
- しっかりとした製本仕様
→ご相談いただければ仕様もお選び可能
- 通常のフォトブックや書店の写真集とは
異なる印刷品質
- 価格：\10,500~\21,500



Art+booksとは

複雑な色合わせは不要

- 撮影データ/モニター/プリンターの

3者でRGBのままやりとりが行われるため、大きく仕上がりがズレることが少ない

細かく現像処理する場合は、モニター精度も重要になってくる



Art+booksとは

簡単なPhotoshop操作

- Art+booksでは、RGBでのフローを中心に考えているため、PSDでの作成→JPEG/TIFFでの入稿。
- 移動・配置・変形等、簡単なPhotoshop操作でレイアウトも可能。
- 作業が難しい方にはレイアウトからの受注も。

Art+booksとは

まとめ

- 簡単な操作で1冊から制作できる高品質作品集
- 1冊 10500円~
- これまでの集大成として長く保管するために
- 多くの人に見てもらおう作品集として写真展などの機会に

ハイクオリティ鉄道写真集

- 商品の話だけでは、実際に分かりにくいと思うので、今回は実際に1冊の写真集を製作する過程をみなさんにお見せしたいと思います。
- 素材を集めるところから、実際のレイアウト作業までお見せしながら、写真集作りを身近に感じて頂ければと思います。
- 1冊の価格も安くはないので、できれば一生モノの写真集にできるようなポイントをいくつかお話していきます。

ハイクオリティ鉄道写真集

Q.良い写真集とは？

A1.グッとくる写真が入っていた

A2.写真と文章が好きだった

A3.「Memories」

答えは色々だと思いますが、

「思いが伝わる」写真集



写真集制作の流れ

～前編～

- ① テーマ(題材)を決める
- ② おおまかな流れを決める
- ③ 判型・サイズを決める
- ④ 写真の面付けとページ数を決める

写真集制作の流れ

～後編～

⑤ ページレイアウト

(⑥ プロローグ/奥付/文字入れ)

⑦ 表紙製作

⑧ 入稿

⑨ 完成

写真集制作の流れ

～前編～

- ①テーマを決める
- ②おおまかな流れを決める
- ③判型サイズを決める
- ④写真の面付けとページ数を決める

前編：①テーマを決める

- 膨大な撮影データの中から作品集にするテーマを決めます

→最初にここでつまづくこともおおいですよ

- 出来れば、長年撮りためたもの、色々な表情のカットがあるテーマを設定

只見線の春夏秋冬／キハ52／国鉄特急総集編／鐵道自分史など

- そのテーマで一番見せたい写真を決める

写真集制作の流れ

～前編～

①テーマを決める

②おおまかな流れを決める

③判型サイズを決める

④写真の面付けとページ数を決める

前編：②おおまかな流れを決める

おおまかな流れ＝起承転結

- 写真集も読んでもらうものなので、見る人が飽きないように、ストーリーを意識する。
- 単調な写真が続かないように、構図・被写体・時間などで抑揚をつける。
- 盛り上がりのピークに見せたい写真を持ってくる。

前編：②おおまかな流れを決める

例えば：

- 春→夏→秋→冬 ／ 朝→昼→夜
- 年代時系列

一つのテーマが難しい場合は、

2~4のテーマで同じように構成

(ex:東日本編/西日本編)

→見せカットをどこに持ってくるのかを考えながら

写真集制作の流れ

～前編～

- ① テーマを決める
- ② おおまかな流れを決める
- ③ 判型サイズを決める
- ④ 写真の面付けとページ数を決める

前編：③判型サイズを決める

- 基本形はスクエアタイプ

→縦横のバリエーションを組み合わせ可能。

- A4タテ型

→車両正面迫力系。横写真は見開きに。

- A4ヨコ型

→鐵道情景系、編成系。縦写真は小さく。

前編：③判型サイズを決める

余談：余白はもったいない？

- 写真集も中の用紙はインクジェット紙なので、1枚1枚が高価。写真が大きなほうがお得。

→ただ写真の見せ方としては

- 余白なしの写真は迫力が増す
- うるさくしたくない、余韻を感じてもらいたい等、控えめに見せたいときは余白を。

写真集制作の流れ

～前編～

- ①テーマを決める
- ②おおまかな流れを決める
- ③判型サイズを決める
- ④写真の面付けとページ数を決める

前編：④写真面付けとページ数

ページ数を決めるとき →基本的に1P1Cをオススメ

他には、見開きで1C、作品集は、片面2P1C など

EX：40枚の写真がある場合

→基本的には40P

→ページ数を50Pに増やし、5枚を見開きで配置

→1点1点の作品を見せていく写真集→倍の80P

前編：④写真面付けとページ数

写真のセレクト

- ・同じようなカットは選ばずに1カットのみにする

→同じようなカットを並べてしまうと、1カットごとの特別感が薄まる。

→入れるとしても、一見開きで横並びにならないように、順番を入れ替えたり・別日のデータを組み合わせたりと、バリエーションに富むことが大事



前編：④写真面付けとページ数

セレクト・面付けの手順

- ・ 2枚一組(左ページと右ページ)の組み合わせをたくさん作り、後からその組み合わせの並び順を決める。
- ・ 各グループの中でさらに起承転結を作り、並び順番を決める。
- ・ 各グループに必ず1枚は盛り上がりの写真を持ってくる。

ページ順を決めたら、サムネイルを順番通り並べて、ページをめくるように流れを確認する。

前編：まとめ

- ・ 写真集制作はテーマを決めるところから
- ・ 全体の流れを考えて、飽きないような作りに
- ・ 判型は見せたい写真によって変える
- ・ 写真のセレクトは似たようなものを選ばない
- ・ 見せたいカットが目立つように工夫
- ・ 見開きでペアを作成しながら、順番を作っていく

後編：実践編

- ・ 前編で紹介した①～④を実際の写真を元に解説
テーマは…小田急ロマンスカー LSE 7000



2018年3月での引退

後編：実践編～①テーマ設定～

どうしてLSEにしたのか？

- ・色々ある撮影データの中で、ピンポイントではなく、継続的に撮っていたテーマ
- ・四季や朝～夜にかけてのバリエーションが豊富だった
- ・引退前の記念としてまとめたかった
- ・キメカットは、車両が主体なので、

疾走感のある流し撮りに決定

後編：実践編～②流れを決める～

まず大まかな流れを決めるために、写真を見ながら
撮影総数1480カット→121カットに

- ・連射しているカットは一つに。
- ・駅撮り感のある写真は削除。
- ・同じような場所で撮っている写真は、一番クオリティの高いものを残す。



後編：実践編～②流れを決める～

- ・ 121カットをテーマ別に振り分けてみる
四季で分けてみると…
 - 秋冬(感のある)写真が春夏に比べて少ない。
 - 編成の写真が多い。
 - 方向幕のバリエーションもある。
 - 夜の撮影、離合の撮影なども

以上のことから…

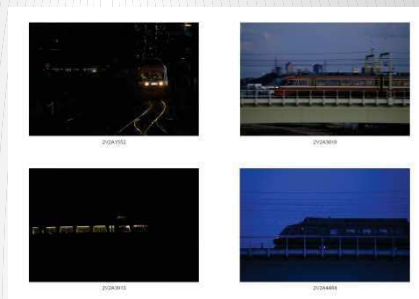
後編：実践編～②流れを決める～

「四季・情景」 4

「編成」 3

「夜」 1

「離合」 1



ひとまず、以上4つのグループにカテゴリ分け
その中でさらに重複がないよう絞り込み。

→絞り込みは大胆に。思い入れを一旦捨てましょう。

後編：実践編～③判型を決める～

判型・サイズについて…

四季や情景の写真に縦横のバリエーションが含まれていたため、縦横が同じサイズで入れられるスクエアタイプに。

尚、写真を大きく見せたいため、AB260サイズではなくAB320サイズに。

後編：実践編～④セレクト・ページ数～

- 先ほど簡単に絞り込んだ121カットをすべて小さなサムネイルに印刷。
 - 2枚1組の組み合わせをつくる。
 - 組み合わせは同じジャンルから
 - 桜同士、新緑同士などの組み合わせが簡単
 - 同じような撮り方や車両サイズ感のカットが並ばないようにする
- (ジャンルが同じであれば統一感がなくなることはない)



後編：実践編～④セレクト・ページ数～

2枚組の組み合わせを作っていくと…

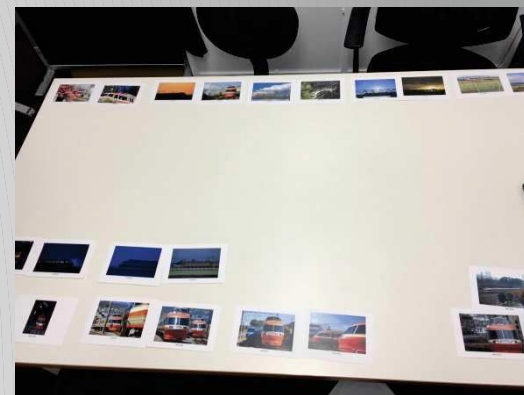
四季：編成：離合：夜でバラバラに。

- ・春夏+夜＝前編
- ・秋冬+離合+編成＝後編

という2部構成に

前編・後編内での順番は見開き単位で自由に並べかえ。

各テーマごとにカット量を調整。



後編：実践編～④セレクト・ページ数～

流れ：春夏→夜→離合→秋冬(編成含)

- ・一度夜の写真を挟んだ後、また昼の写真を出すことで、2部の構成感を出す。区切りは見開きで表現。
- ・編成は極端にセレクトを減らし、四季の中に混ぜ込む(本当に良いカットだけ生かす)
- ・組み合わせを並び替えながら決めていく

後編：実践編④セシクト・ページ数～



後編：実践編～④セレクト・ページ数～

最終的に選んだカットが66ページ分になったので、
70ページにするために、見開きページを追加したり、
カットを追加するなどして4ページ増量。

70ページの分の面付けが完成！

後編：実践編～④ページ面質～

選べる面質は3種類

- ・グロス（超光沢）
- ・ラスター（微粒面）
- ・サテン（マット）



→LSEの車体感に合わせてグロスを選択。

写真集制作の流れ

～後編～

⑤ ページレイアウト

⑥ プロローグ/奥付/文字入れ

⑦ 表紙製作

⑧ 入稿

⑨ 完成

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

用意するもの

1. 撮影画像

形式：JPEG もしくは TIFF (PSDも可)

サイズ：1200万画素以上 3800×2500px

解像度：72～350dpi など→特に関係ありません

→テンプレートに依存するため

色空間：sRGB もしくは AdobeRGB

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

用意するもの

2. 撮影情報（撮影日時・撮影地）

→文字入力される場合のみ

3. Photoshopテンプレート

(弊社から配布しているもの)

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

Photoshopテンプレートに関する注意点

→通常はsRGBでの作業をお勧め

→撮影データがAdobeRGBの場合は、テンプレートを
sRGB→AdobeRGBに変換する必要があります。

（そのままだと、sRGBに変換されて配置される）

→色空間の変更方法

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

どうして画像の解像度は関係ないのか

→色空間同様、テンプレートの持つ解像度によって規定されるため。

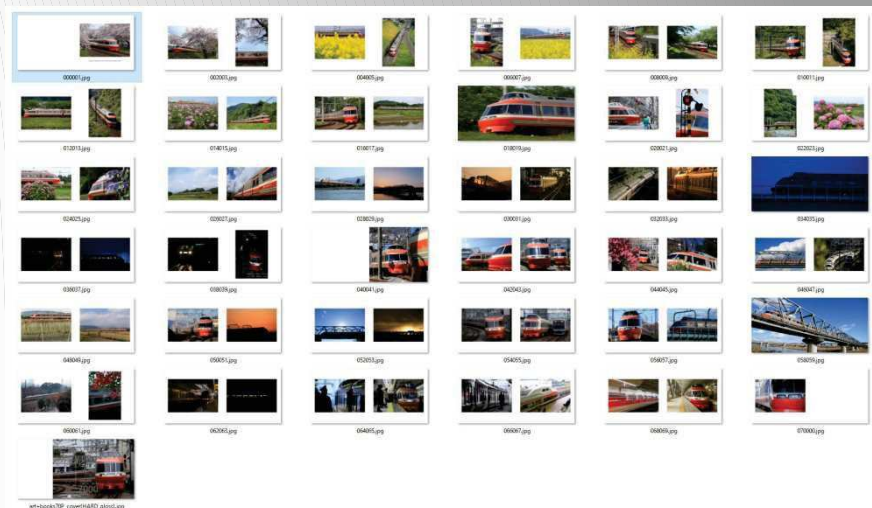
→1200万画素以上のカメラをお使いであれば、何も気にせずはめ込んで頂いて大丈夫です。

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

Photoshopを使った簡単ページレイアウト

- ①テンプレートを理解する
- ②基本作業を理解する
- ③便利機能を理解する

→実際の作業を元に解説



後編：実践編～⑤ページレイアウト～

①テンプレートを理解する

- ・ ツール
- ・ トンボ線

→必ずトンボ線レイヤー下で作業を行う

- ・ めりたし

→断裁時の余白。断ち落としの際に必要。

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

②基本作業を理解する

- ・ 基本となるページを作成。タテヨコのテンプレート
- ・ 必ず、操作したいレイヤーを選択
- ・ 移動ツールで移動と変形
- ・ ガイド
- ・ 複製方法と新規配置枠の作成
- ・ 写真の配置（上に表示したいものはレイヤーも上に）

→実際の作業を元に解説

後編：実践編～⑤ページレイアウト～

③便利機能

- ・クリッピングマスク
- ・ヒストリー
- ・レイヤー効果

→実際の作業を元に解説

→出来上がった見開きから順に名前を付けて保存。

写真集制作の流れ

～後編～

⑤ ページレイアウト

⑥ プロローグ/奥付/文字入れ

⑦ 表紙製作

⑧ 入稿

⑨ 完成

後編：実践編～⑥文字入れ～

プロローグ/奥付/キャプション等

→今回は特に記載なし。

よっぽどの作品集でない限り、奥付は不要。

タイトルと備忘録の為の撮影地情報だけでもOK

→次の表紙の作業時に文字打ち込み方法も解説

写真集制作の流れ

～後編～

⑤ ページレイアウト

⑥ プロローグ/奥付/文字入れ

⑦ 表紙製作

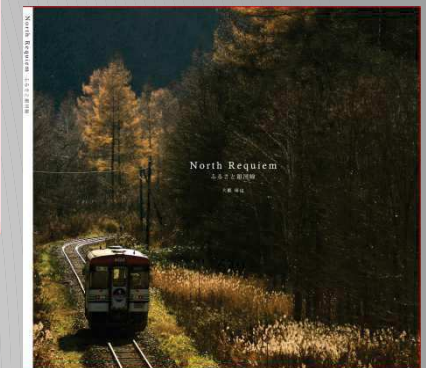
⑧ 入稿

⑨ 完成

後編：実践編～⑦表紙製作～

表紙デザインの種類

- 基本的な形
→写真を真ん中に配置
- 写真全面
→よりダイナミックな印象に
- 文字のみ
シンプルな装丁



2016 START

Izumi Takase

後編：実践編～⑦表紙製作～

表紙タイプの選び方

ハードカバー（上製本）

→しっかりとした本の印象になるので、
長く保管したい、かっちりして見せたい時などにおすすめ。

ソフトカバー・ブックカバー（並製本）

→ややラフな印象で、開きやすく雑誌のような感覚
ページ数が多くパラパラめくりたい時などにおすすめ。
持ち歩きやすさも。

後編：実践編～⑦表紙製作～

表紙タイプの選び方

LSE写真集は、ページ数も多く、しっかり大きなサイズで見せたいため、ハードカバータイプを選択。

写真はダイナミックに見せたいことから、全面写真のデザインに。



後編：実践編～⑦表紙製作～

- ・表紙写真選びのポイント（写真一覧）

→中身を象徴するような決めカット。

→やはりロマンスカーと言えば新宿特急。

→車両形・エンブレム・走行雰囲気が見える写真に

最初に決めていた写真が難しければ差し替えも。

→実際の作業

後編：実践編～⑦表紙製作～

- ・文字デザイン

- 「タイトル」→車両名

- 「フォント」

- 基本的には

- ゴシック(游ゴシック・小塚ゴシック・ヒラギノ)

- 明朝(MS明朝・小塚明朝)

- 文字色(スポイト)

- 文字配置 (サイズ・字間・行間の変更)

写真集制作の流れ

～後編～

⑤ ページレイアウト

⑥ プロローグ/奥付/文字入れ

⑦ 表紙製作

⑧ 入稿

⑨ 完成

後編：実践編～⑧入稿～

- PSDからJPEGへ変換方法→
TIFFでも可能ですが、通常ほとんどの場合で
印刷仕上がりに変化はありません。
空のグラデーションや暗闇の階調を残したい場合

- データ受け渡し
オンラインストレージやメディア入稿



後編：実践編～⑨完成～



入稿から約2週間でお届けいたします！

後編：まとめ

今回はご自身で1冊ずつお作りいただくケースを話しましたが、弊社にレイアウトをご依頼いただいたり、まとめて数十冊お作りいただくことも可能です。

(その場合は表紙のカスタマイズや割引などもございます)

今後皆様も、作品集をまとめる機会がありましたら、ぜひ一度ご検討いただけると幸いです。

最後にちょっとだけ告知

写真展：『「鉄道」と「猫と鉄道」写真展』

会期：2017年7月25日(火)～30日(日)

時間：11～19時(最終日は17時まで) ※入場は終了の30分前まで

会場：ギャラリー・ルデコ 3F 4F 5F

住所：東京都渋谷区渋谷3-16-3 高桑ビル

入場料：500円 3～5F フロア共通入場券 小学生以下無料 当日再入場可

主催：ジャパנקリエイト株式会社 フォトソリューション事業部

※山崎教授にもご参加いただきます！



ご清聴ありがとうございました。